



“おひなさま” きれいだナー

2月13日、鷺別保育所で子供たちがひな人形の飾りつけをしました。

どの子の顔も、3月3日のひなまつりが楽しみな様子です。

NOBORIBETSU

広報
のぼりべつ

'92. **3.1**
No.497

■人口/56,796 ■世帯/20,056 (前月比=人口+17・世帯+11) 平成4年1月末現在

①

3月の土曜閉庁(休み)は14日と28日です

温泉別登 「湯まつり」

湯気モウモウ 湯かけ合戦



登別温泉の恒例行事となつていま

す。初日は、カルルス温泉に湯鬼神とおかめ、ひよっとこが登場し六軒の旅館やホテルを回って宿泊客らの無病息災を祈っていました。

今年初めてアイスキヤンドルが飾られた温泉街に午後六時、地獄谷から湯鬼神が登場し、登別温泉のメインストリートを「福は内、福は内」と掛け声勇しくねり歩くと、観光客もビックリ。

最終日は、湯まつりの最後を飾るメイン行事、源泉湯かけ合戦が地獄谷近くのホテルの前庭で繰り広げられました。

午後八時五十分、ねじり鉢巻きに下帯姿の若者約五十人が登場。合図と同時に二手に分かれ、大声を出して湯をかけ合っていました。周囲には湯気がモウモウと立ちのぼり、大勢の観光客も寒さを忘れ、しばしこの奇祭を楽しんでいました。

だい
ンブル



上手に 漬かったネー

ふるさと農園「新春のつどい」が二月十五日、美園児童センターで行われ、参加したお年寄りや児童が自分たちで収穫した大根の漬物の味を楽しんでいました。

ふるさと農園は、市教育委員会の世代間交流事業の一つで、今年度も市内三地区行われました。

鷺別・美園地区では、昨年八月に地域のお年寄りや子供たちの共同作業で大根の種まきから、収穫たくあん漬けにするまでを行いました。

この日は、お年寄りや子供たち約五十人が参加し、もちつきのおとにお汁粉と自分たちの漬けたたくあんの試食を行い、参加した人たちは「おいしいナ」と舌鼓を打っていました。

グリーン・ピア商店会 発展を願って 「福は内」

若草・新生地区の商店会は、今年一月から「グリーン・ピア」商店会と名称を変更し、この発足記念と今後の発展を願って、二月一日「ザ・豆まき」を行いました。

若草中央公園には地域の住民が大勢詰めかけ、竹浪商店会会長らが「福は内」と掛け声も威勢よく豆まきを始めると、先を争うように拾い合っていました。

豚汁やお汁粉、甘酒などが無料で振る舞われると皆んなニッコリ。大声大会や雪中から取り、早食い大会なども行われ歓声が上がっていました。

登別 グリーン・ピア



コミュニティ運動 全道大会

コミュニティ運動全道大会が、二月十三日・十四日の二日間、市民会館などを会場に開かれました。この大会は、北海道コミュニティ



わ

スクラ

イ運動協会などの主催によるもので、全道各地で地域づくりに取り組んでいる方々が一堂に会し、日頃の活動の成果や情報交換を行うとともに、個人や家庭では解決できない生活課題についての協議を通して理解を深め、北の大地にふさわしいまちづくりを考えるもの。初日は市民会館など三つの会場に分かれて、「ゴミ減量化と資源リサイクル社会をめざして」、「ふれあい多い地域社会をめざして」、「豊かな地域を拓くまちづくりをめざして」と題し、これらの実現に向けて討議を行いました。最終日は、前日の討議を受け、それぞれの社会の実現に向けた運動の推進を決議し、二日間の日程を終えました。また、NHKアナウンサーの加賀美幸子さんによる「様々なメッセージ」と題した記念講演も行われ、「日頃から言葉を大切に」と訴えていました。

明治時代の おひなさま



登別市郷土資料館に明治時代の貴重なひな人形が飾られています。このひな人形は、美園町の広瀬なみさんが「多くのの人に見てもらえたら」と昨年同館に寄贈してくださったもの。広瀬さんの初節句に両親が買ってくれたという年代もので、全体的にやや傷はあるものの、気品のある顔立ちをしています。

現代のひな人形に比べればやや小さめですが、館内には、華やかだき雰囲気漂っています。このほか、「舌切りすずめ」などの変わりびな五点も展示されており、訪れる人は歴史を刻んだおひな様に、しばし足を止めて見入っています。展示は三月三日までです。

イモ団子 おいしいね

富士保育所で二月七日、富士保育所と桜木保育所の子供たち約百人が、老人クラブ梅光会のおじい

ちゃん、おばあちゃん約二十人と一緒に交流会を開きました。この事業は、地域に住むお年寄りたちとの交流を通して子供たちにも豊かな心を培ってもらおうということから年六回実施しているもの。

まず、全員が輪になって「二円玉の旅がらす」の曲に合わせて楽しく踊り、次にお年寄りたちが忍者のいで立ちも勇ましく「忍者ハットリ君」の踊りを披露。紙で作った手裏剣を投げると子供たちは大よろこび。盛んな拍手を浴びていました。

最後は、皆でジャガ芋を使った芋ダンゴを作り、ホットプレートでこんがり焼いておいしそうにはお張っていました。



第3回

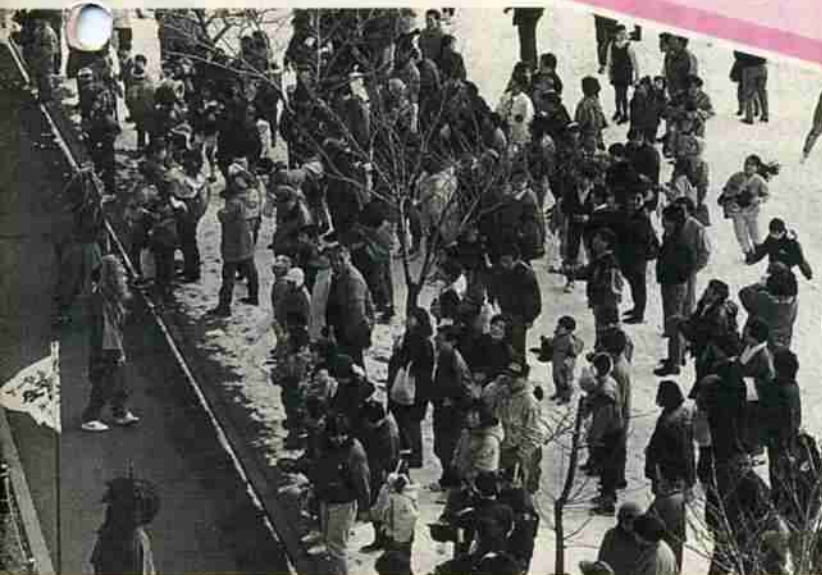
再発見

ふるさとまつり



寒中ラジオ体操
みんな元気にイチ・ニー・サン!!

ふれあいながら ふるさと



たくさん拾うゾ!!
早く、豆まきしてよ!!

二月二日、市民会館を会場に「第三回ふるさとまつり」(登別市ふるさと広場実行委員会主催)が開かれました。

この「ふるさとまつり」は、ふるさと登別の良さ、素晴らしさを見つめ直し、一層住み良いまちづくりのための夢を育てようと実施したものです。当日は、家族連れなど大勢の市民の皆さんが参加して市民会館の駐車場で寒中ラジオ体操で始まりました。この後、大ホールでは「ふるさとの歌」や小学生から年配者までの市民各層代表による「ふるさとまちづくり提言」。「幌別鉾山獅子舞」「駒おどり」など、昔から伝わる伝統芸能を子供たちが熱演し、会場から盛大な拍手が送られていました。

会館の屋上からは、三千袋の豆を「福は内」とまき、待ち受けていた市民は、歓声を上げて捨集めていました。

また、「ふるさともちつき大会」も行われ、つぎたてのもちでお汁粉パーティが開かれ、集まった人たちは、「おいしいね」と舌鼓を打っていました。

↑ 桶谷清定さん（若草町在住）は『男港登別』を披露。登別漁港で働く男の強さと優しさを切々と唄っていただきました。



人と人が

↑ 伊藤佐津紀さん（登別東町在住）は、北海道ニューフロンティア・フェスティバル「北の賛歌コンクール」の第六回の最優秀曲『冬支度雪支度』と同第八回の優秀曲『石狩恋歌』を披露していただきました。



↑ 鷺別獅子舞
白山の神を信心する人が神社に集まり、悪魔退治、家族の安泰、五穀豊饒を願い舞うものです。

↑ 駒おどり
開拓時代、大自然を駆けめぐる荒馬が群れをなしていました。これらの子馬に子供たちがまたがり、郷土を想い、一族の安全と繁栄、豊作、豊漁を祈願するものです。



← これ、とってもおいしいワ
おかわりしようかな

↑ おばさん、おもちたくさん入れてネ



← ベッタン、ベッタン
おもちつき早くできないかア



市民リポート

みんなでつくる

あつたかい街

市民ボランティアフォーラム

リポーター

丸大塚
山屋野
由二道
紀三枝代

「ボランティア」とは、ある書物によれば「社会の生活問題の解決のために自発的、自主的に奉仕活動をする人びと」とあります。ボランティア活動は、恵まれない人に何かをしてあげるといってではなく、その地域で生活する人間同士の志が、お互いの幸せを求めて、自分たちの住む地域社会を自分たちの手でより住みよいものにしようとする活動であると思います。2月8日市民会館で、登別市としては初めての試みとして開かれた「市民ボランティアフォーラム」は、ボランティアの輪を地域へ広め、「みんなでつくるあつたかい街」づくりを目指して行われたものです。



私たちの住んでいる登別、この街にはいろいろな人が住んでいます。病気やケガ、あるいは悲しみや悩みごとを抱え、平穏な日常生活が送れない、そういったことが万一人の身に起ったら、そんなことを考えるのは、私一人だけでしょうか。そんなことを思いながら二月八日に市と市社会福祉協議会が主催した「市民ボランティアフォーラム」を市民会館で取材しました。

ドキュメントボランティア
いのち輝いてますかー基調講演をきいて

午後一時過ぎから開かれた基調講演は、北海道まちづくりボランティア会議の代表である藤井英規さん（旭川市）が講師として登壇。高校生の頃から始めたボランティア活動について、自らの豊富な体験談を熱っぽく語ってください、理屈抜きで心に伝わってくるものでした。

今、ボランティアや福祉問題について各方面で叫ばれているのは、ボランティア活動等が広く普及していますが、まだまだこれから、ということだからです。ボランティアという言葉は知っていますが、いざ自分でやるとなるとなかなか行動に移せない、そういう人が多いのではないのでしょうか。私自身もその一人ですが、

この日の講演を聞き、ボランテ



実践発表

市内で活動している六つのボランティア団体と登別高校、緑陽中

シアとは、人に何かを与えたり与えられたりするものではなく、人間同志がどのようにしたら互いに理解し合い、心を寄せていけるのか、そういうことを考えさせられました。

学校、富岸小学校の三つの学校の生徒・児童代表によるボランティア活動の実践発表が行われました。始めに発表をした登別市ボランティアの会（井上ハルヨ会長）は、障害のある方とは、心と心でふれあいを「をモットー」として友愛セイルへの参加、視力障害者協会との交流、し体不自由児通園施設「のぞみ園」等への布の本のプレゼントなどを三十五名の会員で精

市民ボランティアフォーラム

みんなで作るあつたがい町
地域 登別市 登別市社会福祉協議会



力的に行っています。井上会長の「障害のある方から、人として学ぶことも多く、健常者にできないことはない」との思いと、「健康でお手伝いできることの喜びを感じている」とおっしゃった言葉が大変印象的でした。今後の活動としては、会員の高齢化が悩みであるが、よりよい布の本づくりに取り組んでいくと力強く抱負を述べられました。



発足が平成三年六月と新しい在宅ボランティアとわの会（砂田チエノ会長）は、在宅している方で入浴が困難な方々を対象にした入浴サービスのボランティアです。入浴サービスは市社会福祉協議会が実施していますが、対象者の送迎、衣服の着換え、食事の介助などが主な活動内容で、毎週火・金曜日に二人一組となって行っています。発足してまだ日が浅い団体ですが、大変活発に行動しています。これからの活動について、「高齢化社会に対応できるよう研修会を開き、介護や接遇などを向上させ、会員を拡大し地域に根ざした活動をしていきたい」と砂田会長。

この他、美園地区婦人ボランティアクラブ（末永美津枝会長）、登別市点訳赤十字奉仕団（伊達豊子委員長）、登別手話の会（浜田一夫会長）、登別朗読ボランティアの会（川仁菊子会長）の皆さんが現在の活動状況や今後の抱負を発表されましたが、いずれの団体にも共通して感じたことは、ボランティア活動を自らの喜びとし、常に自己研さんに努められているということでした。更に、前述した小学校、中学校・高校の児童・生徒たちも清掃活動や資源リサイクルに取り組み地域のために奉仕しているとのこと。将来の登別を担う若い世代の活動に心強いものを感じました。

討論会を聞いて

六十五歳以上の人口（老年人口）が、総人口の七割を超えると高齢化社会なのだそうす。

登別市の状況は総人口五万五千五百七十一人に対し老年人口が七千二百九十三人で比率にして十三・一（平成二年調査）。まさしく高齢化社会のまっただ中です。また、老年人口の中で一人暮らしや寝たきりのお年寄りが一割以上を占めています。このような現状からもボランティア活動の必要性を痛感しました。討論会では各パネラーと会場の参加者との白熱したディスカッションを期待していましたが、パネラーの意見を聞くだけにとどまったように思います。このため、ボランティアの本質に



迫るとか、どのような取り組みが必要なのかなどの突っ込みが欲しかったと思います。会場から出された意見として、障害のある人や高齢者にとって歩道が狭かったり、除雪した雪が横断歩道をふさぐように積まれていたり、また、歩道に自転車や物が置いてあるなど大変迷惑で危険である。皆さんのちよっとした心配りが欲しいと切実な声があがっていました。私たちにとっては何気ないことでも、障害のある方やお年寄りにとっては大変なことなんだなと改めて感じましたが、もっと多くの人からの意見や提言が出されたらなあーと残念に思いました。これからもこのような催しを続けることによって、より多くの意見が出され、多くの人にボランティアの大切さと、いわゆる社会的弱者への理解が得られると思います。

行政へ望むこと

登別は、聴覚障害者のための組織がなく、そのため、「登別手話の会」が誕生したそうです。耳が不自由な方のための各種活動は、室蘭の聴力障害者協会を通じて行なっているとのこと。登別においても、行政の協力を得ながら一刻も早く組織が結成されるようお願いしてやみません。また、障害を持っている方の働く場の拡大も考えてほしい問題です。それに現在のボ



ランテアグループ共通の悩みであった人員不足とグループ自体の高齢化について深刻に受け止め、行政としても何らかの対策を講じてほしいと思いました。

施設面では、新聞等で報道されましたが、総合福祉センターの建設を予定しているとか。これはとても素晴らしいことだと思います。しかし、鉄南ふれあいセンターのように、二階に社会福祉協議会があるにもかかわらず、そこへ行くための入口が階段だけであり、スロープをつくるなどの配慮がありません。新しく建設される福祉センターには、十分な配慮を期待します。

※ボランティア活動に関心のある方は市社会福祉協議会（☎011-0000）までご連絡ください。

第10回 市議会定例会 平成4年度予算案 などを 提案予定

3月2日招集予定の平成4年第1回登別市議会定例会には、新年度予算をはじめ、4月に供用開始を予定している「登別市若草つどいセンター」（若草町4-21-1）条例の制定、登別市国民健康保険の一部改正など報告2件、議案13件の提案が予定されています。今号では、新年度予算の主な事業についてお知らせします。

平成4年度 一般会計は174億5千4百万円

平成4年度予算案は、市長選挙の行われる年ですが、継続的な公共事業や補助、地方債を活用した事業、また平成4年度に着手するよう準備を進めてきた事業については、これに取り組んでいくとの考えに沿って編成しました。

更に、平成3年度中に各般におたる指針及び基本計画を策定しましたので、平成4年度はその実行を着実に図って行く初年度として位置付けをしています。

しかし、財政状況は依然厳しい環境にあることから、総体的に経費の節減に努め、限られた財源の効率的な活用を図ることとし、

- 市内全域の排水対策
- 総合福祉センター建設
- 市街地再開発事業補助
- 国民健康保険財政の安定化支援措置として一般会計からの繰出しなどの増額などを重点事業として予算の編成を行いました。

一般会計予算案は、百七十四億五千四百百万円で、平成3年度当初予算に比べ一・四割の伸びとなっています。各特別会計（国民健康保険・学校給食・公共下水道・老人保健・区画整理）と水道会計を合わせた全会計総額は、二百八十三億三千四百二十二万円。昨年度当初と比べ六・九割の増となっています。

なお、主な事業内容は次のとおりです。

〔一般会計〕

○ 総務費 国際交流に要する経費として一千五十万円。公共施設水洗化事業費として百八十万円。いきいき人とまち推進事業に一千二十万。

○ 民生費 国民健康保険特別会計への繰出金三億一千六百九十四万九千円。総合福祉センター建設事業費として四億六千四百七十万円。交通安全施設整備に一千五十万円。

○ 衛生費 火葬場整備に六百八十万円。ごみ減量化推進事業に七百七十七万円。清掃工場整備に八百八十五万円。

○ 農林水産業費 鷺別漁港関連道整備受託事業費として九千五百七十八万七千円。

○ 商工費 市街地再開発事業補助金として七千五百八十万円。鬼サミット・登別補助金として五百万円。登別温泉地域総合整備事業に三千四百百万円。

○ 土木費 市道七路線の改良舗装事業に二億六千六百五十万円。市道舗装排水整備事業に四億四千八百万円。公園整備事業費（川上公園・登別ビーチパーク・幌別川サイクリングロード・鷺別岬遊歩道の新設）として三億八百八十万円。緑ヶ丘団地建替事業費に二億三千

五百五十四万七千円。

○ 消防費 救急車購入費に二千五百万円。消防ポンプ自動車購入費に一千七百万円。

○ 教育費 教育用コンピュータ導入経費として九百一十二万円。幌別小学校校舎改築実施設計委託料として三千六百三十二万六千円。登別中学校校舎改築事業に九千四百七十三万三千円。生涯学習推進アドバイザー設置費として二百二十二万円。

〔特別・事業会計〕

○ 公共下水道 終末処理場建設、管渠布設などに九億五百万円。

○ 水道 配水管布設、改良、移設などに二億一千六百七十

<歳入> 平成4年度 一般会計予算

款	平成4年度予算額	平成3年度予算額	比較増減	伸率(%)
市 税	4,804,125	4,455,122	349,003	7.8
地方譲与税	350,600	344,800	5,800	1.7
利子割交付金	168,946	149,000	19,946	13.4
ゴルフ場利用税交付金	30,564	30,500	64	0.2
特別地方消費税交付金	35,000	0	35,000	皆増
自動車取得税交付金	100,653	113,000	△ 12,347	△ 10.9
国有提供施設等所在市町村助成交付金	597	597	0	0.0
地方交付税	3,810,000	3,608,000	202,000	5.6
交通安全対策特別交付金	13,500	12,000	1,500	12.5
分担金及び負担金	54,712	56,940	△ 2,228	△ 3.9
使用料及び手数料	660,502	638,483	22,019	3.4
国庫支出金	2,267,507	2,162,739	104,768	4.8
道支出金	1,386,119	638,192	747,927	117.2
財産収入	62,468	36,998	25,470	68.8
寄附金	30	30	0	0.0
繰入金	1,356,141	1,258,669	97,472	7.7
繰越金	90,000	90,000	0	0.0
諸収入	1,069,736	1,037,730	32,006	3.1
市債	1,192,800	1,041,200	151,600	14.6
歳入合計	17,454,000	15,674,000	1,780,000	11.4

<歳出>

款	平成4年度予算額	平成3年度予算額	比較増減	伸率(%)
議会費	174,362	172,822	1,540	0.9
総務費	1,179,535	1,124,390	55,145	4.9
民生費	3,995,884	3,615,727	380,157	10.5
衛生費	412,301	320,088	92,213	28.8
労働費	309,586	334,915	△ 25,329	△ 7.6
農林水産業費	182,582	104,574	78,008	74.6
商工費	553,820	496,464	57,356	11.6
土木費	3,367,463	2,531,639	835,824	33.0
消防費	140,623	116,710	23,913	20.5
教育費	895,449	864,941	30,508	3.5
公債費	1,783,413	1,739,226	44,187	2.5
給与費	4,438,982	4,227,504	211,478	5.0
予備費	20,000	20,000	0	0.0
災害復旧費	0	5,000	△ 5,000	皆減
歳出合計	17,454,000	15,674,000	1,780,000	11.4

平成4年度 登別市各会計予算総括表

会計区分	平成4年度予算額	平成3年度予算額	比較増減	伸率(%)	
一 一般会計	17,454,000	15,674,000	1,780,000	11.4	
特別会計	国民健康保険	3,435,100	3,390,000	45,100	1.3
	観光事業	—	125,900	△ 125,900	皆減
	学校給食事業	371,900	385,400	△ 13,500	△ 3.5
	公共下水道事業	1,479,500	1,518,500	△ 39,000	△ 2.6
	老人保健	4,463,500	4,241,600	221,900	5.2
	富岸土地区画整理事業	90,422	198,000	△ 107,578	△ 54.3
合 計	27,294,422	25,533,400	1,761,022	6.9	
水道事業会計	収益的支出	681,000	647,000	34,000	5.3
	資本的支出	355,000	316,900	38,100	12.0
	計	1,036,000	963,900	72,100	7.5
総 計	28,330,422	26,497,300	1,833,122	6.9	

登別方式リサイクルシステム

平成四年四月から実施にむけて準備中



市は、資源の再利用、再資源化について全市的に取り組むため、登別市衛生団体連合会や登別資源リサイクル協会などの諸団体とリサイクルのシステム化について協議を進めてきました。

その結果、次のとおり「資源リサイクルシステム」がまとまりました。

このシステムによる資源回収は、平成四年四月から実施したいと考えていますが、町内会等の事情により、システムどおりに取り組めない町内会もあると思われまますので、実施できる部分から取り組んでいきたいと考えています。

なお、このシステムの詳しい内容については、今後町内会への説明会や広報などによりお知らせします。資源回収については市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

資源リサイクルシステム

第一種回収資源

新聞紙 雑誌 ダンボール ※生きびん 衣類 牛乳パック

回収日

毎月指定の週に出す（日曜・祭日はさける）

- 第1地区（第2週）（登別温泉連合・登別連合・鉄南連合町内会・カルルス町・富浦町・幸町）
- 第2地区（第3週）（中央町内会連合・幌別西連合町内会）
- 第3地区（第4週）（青葉連合・富岸地区連合・鷺別連合町内会）
- 第4地区（第5週）（新生連合・上鷺別連合町内会）

※生きびん＝一升びん（酒、しょう油）、ビールびん、コーラ、サイダーびん等。

第二種回収資源

金属類

回収日

毎月5日に回収
（全市一斉）
〔当日が日曜・祭日の場合、平日に順延〕

空きカン

回収日

毎月15日に回収
（全市一斉）
〔当日が日曜・祭日の場合は、平日に順延〕

※雑びん

回収日

毎月25日に回収
（全市一斉）
〔当日が日曜・祭日の場合、平日に順延〕

※雑びん＝ウイスキーびん、化粧びん、油びん等、生きびん以外の空びん。

四月一日から

市の施設を利用されるとき申請書への押印が不要になります

市の各種施設を更に多くの市民の方にご利用していただくため、施設使用申請書等への押印を廃止し、申し込み手続きの簡素化を図ることとしました。

※ただし、これらの施設の利用に関する使用料の減免申請は、従来どおり、押印が必要です。なお、押印を省略する申請書等についての詳しい内容は、それぞれの施設におたずねください。

〔押印が不要となる各種施設〕

施設名	施設名
教育委員会関係施設	福祉関係施設
小中学校	登別市会館（富士・富浦会館）
公民館	生活館
市民研修センター	児童館
郷土資料館	母と子の家
市民会館	鉄南ふれあいセンター
総合体育館	老人福祉センター
市民プール	労働関係施設
青少年会館	労働福祉センター
	婦人センター
	公園関係施設
	都市公園

登別市嘱託員募集

市は、平成四年度嘱託員を募集します。

▽募集職種・人員・徴収員：二名
（市税等の徴収員一名、国民健康保険税の徴収員一名）
●家庭奉仕員：一名・児童厚生員：一名
●母子指導員の資格を有する方（保母資格等）
●給食センター調理員：二名

▽雇用期間 平成四年四月一日から平成五年三月三十一日まで
以後勤務成績により年度更新もありません。

▽応募資格 市内居住者
▽受験手続 市役所に備え付けの申込書（写真添付）に記入し、職員課へ提出してください

▽受け付け期間 三月二日（月）から三月七日（土）まで
※三月七日（土）は正午までです。

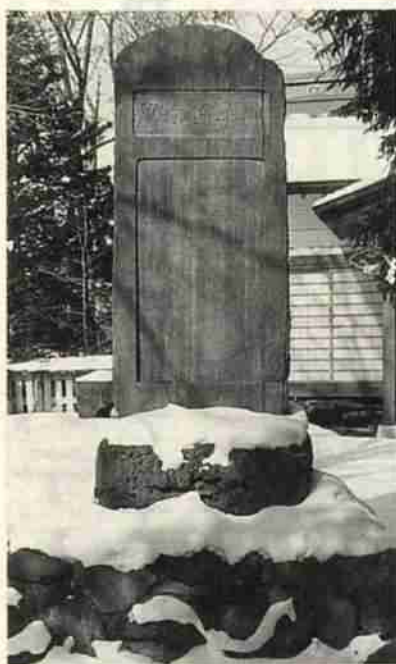
▽試験方法 面接・適性試験（日時は後日連絡します）
※詳しい内容については職員課（☎551132）へお問い合わせください。

こんなところ あんなところ

私の好きな場所

其の二十一… 開拓記念碑

劉田神社境内にある開拓記念碑は、明治二年、宮城県白石城主片倉小十郎邦憲が、幌別郡の支配を命じられてから旧臣と移住して、うっそうたる密林を切り開き、未開の地を苦労して開拓した功績を讃えて、大正十五年に旧家臣ら



によって建てられたものです。碑の裏側には、当時の太政官からの「御沙汰」書の文面と移住者たちの氏名等が刻まれています。

市民登場

友達の輪

富田光子さん

(42歳) 美園町在住



家の子供たちに、世界中にいろいろな国がありいろいろな人がいるけど、人としての本質は皆同じなんだということを知ってもらいたくて四年程前からホームステイを始めました。私も初めは外国人のいいところ見せたくて、あれも、これもと気を使っていたんですけど、それが原因で熱を出しちゃって…。

日本人は外国の人に対して閉鎖的な面があるようですが、特別な意識を持っているからだと思えます。例えば、特別に料理を作ったり、いろんな所へ連れて行ったりとか…。私もそうでしたけど、でも、今は特別なことはせず、ごく自然に相手と接しています。自分たちの生活のリズムを変えるようなことはしていません。

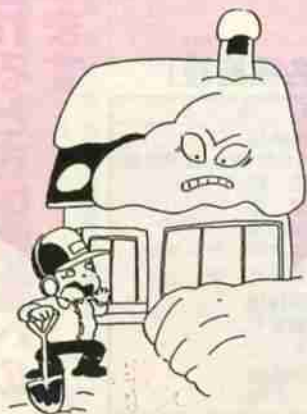
誠意をもって接することが大切だと思っています。

一昨年、私の長男をオーストラリアへホームステイに行かせましたが、私たちが以前に引き受けた子供の家へ行き、一緒に遊んだりしたそうです。帰って来てから長男が「ホームステイをした家は、どこの家でもお母さんたちが明るくて良かったよ」、そう話をしてくれました。母親は笑顔が大事ですね。今年には家族でオーストラリアへ行き、長男がお世話になった方々にお会いしたり、泊っていた部屋なども見せてもらいました。うれしかったですね。

（リポーター イベント・スポーツクラブ）
次回は、温泉町在住の玉川浩史さんです。お楽しみに!!

雪おろしを早めに!!

落雪は、気温が急に上昇した時に起こりやすくなります。早めに雪・氷・つららをおろしましょう。おろす時には、歩行者や子供などに十分な注意をしてください。



消費者コーナー

知ってますか?

プロパンガスのこんなこと…⑥

「書面の交付」について

液化石油ガス販売事業者は、一般消費者に対しLPガスを安全に使用するための大切な事項を記載した書面を交付することになっていきます。

（記載事項）

- 一、液化石油ガスの種類
- 二、液化石油ガスの引き渡しの方法
- 三、供給設備及び消費設備の管理の方法
- 四、供給設備：ガス容器からガスメーター器まで販売店が保守管理をする。
- 五、消費設備：ガスメーター器の出
- 六、気密試験
- 七、LPガスの計量方法
- 八、LPガスの価格に関すること
- 九、供給設備又は消費設備の貸借並びに供給設備及び消費設備の設置、取り換え工事等に要する経費の負担等について、消費者はこれらの事項について認識し、LPガスの安全使用に努める。

〈登別消費者協会〉

口から屋内の燃焼器具まで消費者が保守管理をする。

四、災害発生防止に関する必要な事項

五、供給設備及び消費設備の点検

・調査の実施方法について

六、気密試験

七、LPガスの計量方法

八、LPガスの価格に関すること

九、供給設備又は消費設備の貸借並びに供給設備及び消費設備の設置、取り換え工事等に要する経費の負担等について、消費者はこれらの事項について認識し、LPガスの安全使用に努める。



生涯学習 コーナー

くらしと文化…その二

諸外国のレジャー 調査から考える

一九八九年秋に七か国のレジャー調査の実態が、「余暇開発センター」から発表されています。

それにより「リゾートライフ」関連のスポーツに好んで取り組んでいるベストテンが、次のようになっています。

日本では最初にゴルフがあがっています。ところがアメリカ、カナダ、イギリス、フランス、西ドイツ、オーストラリアの国々では、釣り、サイクリング、ハイキング、バードウォッチングといったような時間消費型で、しかも自然と親しめるものが上位を占めています。フランスやドイツなどでは、ベストテンの中にゴルフは出てきません。

こうした日本の特異性は、スポーツだけでなく、他の創造的レジャーや文化活動全体にも見られるのが実態です。

これからの人生八十年時代、増える自由時間を生かす、生涯学習を営むものにするのが大切だ。そのためには、市場経済からの振興策だけでも難しいし、公共部門にゆだねても難しいことだと思えます。そこで必要なことは、企業のフィランソロピー（企業が代償を求めることなく社会に貢献するために資金や人材を提供する活動）によって社会的支援や貢献が求められると思えます。

わが国においても、昨年より日経連の提唱によって、日経連加盟の各企業が利益の一割を社会に還元する運動を行っており、これには大いに期待をもちたいものです。

ところで、現在の日本をみますと、確実に進みつつある人生八十年時代で、総持ち時間が七十万時間。働き過ぎと言われていますが一年間の労働時間が二千時間、四十年間働いて八万時間です。これを一年千八百時間に短縮しますと大体七万時間となり、生涯総時間のおよそ一割になります。これに対し、自由時間は短かく見積っても二十一万時間、労働時間のほぼ三倍にあたります。

この自由時間をどう過すか。一人ひとりが豊かな生涯を全うするため、真剣に考えていく必要があるのではないのでしょうか。

そのためには、市民として自分の今後の人生観、社会観をしっかりと持ち、わたくしたちの郷土登別の

の未来がどうあるべきか、そのための社会システムをどう構築することがよいかを考える必要があります。

登別市教育委員会は、これらの生き方を見いだすための資質を培う多様な学習の場を用意しています。また、多くの民間団体や学習サークル等が活発に活動しています。あなたの好みに応じて学習の機会を探り、実行に移してみたいかがでしょうか。

学校週五日制の導入が 言われています

あなたの家庭では、あなたの地域では、どう対応します？

各種の報道等で、当面月一回の土曜日を休業日とする「学校週五日制」が今秋から実施されるようです。このことは、単に児童・生徒が土曜日の半日が休みになるという単純なものではありません。現代の子に欠けていると言われている基本的な生活習慣や家族とのふれ合い、自然体験、ボランティアの心など、調和のとれた人間を育てる必要があります。

そのため、私たち大人が、社会が果たすべき役割が問われていると言っても過言ではありません。どうぞ、いろいろな機会や場をとらえ話題にされ、考えてみませんか。

(生涯教育推進室)

登別育英会

奨学生募集

財団法人登別育英会は、高校・高専・日本工学院・大学へ今年四月に入学する方で、経済的理由により就学困難な方を対象に奨学生を募集します。

▽出願資格 登別市に住所を有し、学業優秀、品行方正で経済的理由により就学困難な方

▽採用人数 若干名

▽給与月額 高校：一万円、高専：一万三千元、大学：二万円

▽提出書類 願書（教育委員会と市内各学校にあります）、奨学生候補者推せん書、家庭状況調査書、収入証明書、健康診断書、成績証明書、住民票謄本

▽提出期限 三月三十一日（火）

▽提出・問い合わせ先 財団法人登別育英会（富士町7-33教育委員会内 ☎1100）

移動窓口ふれあい相談 （更生相談）を開きます

市は、心身に障害のある方やそのご家族の方々の悩みごとについて、専門の相談員によるふれあい相談を行います。

また、身体障害者手帳・療育手帳の交付や各種福祉制度について疑問などがありますしたらお気軽にご相談ください。（身障手帳・

療育手帳をお持ちでない方もご利用できます）

▽日程・場所 三月二十四日（火）

：婦人センター、三月二十五日（水）：鉄南ふれあいセンター、

三月二十六日（木）：登別公民館

▽時間 各日とも午後一時から午後四時まで実施しています

▽問い合わせ 福祉課 ☎2008

※当日は、身障手帳・療育手帳をお持ちの方はご持参ください。

市民ラケットテニス大会

参加者募集

市教育委員会は、冬季間の運動不足解消等を目的にラケットテニス大会を開きます。

▽日時 三月二十日（金）午前九時から

▽場所 市総合体育館

▽参加資格 市内に居住している方または市内に通勤している成人男女

▽競技 ダブルス戦

▽用具 自分専用ラケットをお持ちの方は持参のこと ラケットの無い方はお貸しします

▽定員 三十チーム（六十名）

男女混合ペア及び女子ペア又は個人でお申し込みください

※個人申し込みの場合は、主催者側でペアを組ませていただきます

▽申し込み 総合体育館 ☎5552

へ三月十五日（日）までに電話でお申し込みください

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

（5552）

鷺別岬は標高七百七、此処には登別唯一の貝塚遺跡があり、江戸幕府直轄時代の狼煙場、安政二年（一八五五）以降は異国船見張りの南部藩警備番所跡、明治中期は幌別郡（登別市）三村と室蘭郡輪西、チリベツ・チマイベツ村を統合した六村の「鷺別戸長役場」が設けられた名立たる所である。

この鷺別岬（鯨岬）の東北側真下に川口をもち、鷺別岳（室蘭岳）ふところ深くに水源をもつて流れているのが「鷺別川」である。流路延長十一・三。幌別川十七・六、登別川十六・八、に次ぐ登別市内の大きな川である。

現在、上鷺別富岸川・上鷺別川・室蘭市の水元沢川・奥鷺別川などが鷺別岳からの本流に合流しているが、日本製鋼所・室蘭市に送水しているのを見る通りの水量である。

現在の富岸川は、昔から独立した川のように見られていたが、実は明治の中頃まで「ワシベツライバ川」と言われて、富岸・新生・若草町など鉄北の低地帯を流れ、鷺別駅北東鉄道線路近くで鷺別川に合流していたので、今よりも随分と水量は多く、鉄北は大湿原地帯、鉄南は野性の鷺別川が大きく蛇行して広がっていた。

さて、鷺別川は勿論「わしべつ」の地名から命名されるが、記録に見えるのは約三二十年前である。

寛文九年（一六六九）アイヌの英雄シヤクシヤインの蜂起は悲惨な結果に終わったが、松前藩の対処方法を密かに調査した津軽藩の資料「津軽一統志」に「わしへつ、やち也、川有り、シヤインの持分、家五・六軒」と記されているのが最初であろう。

その後、松前藩が幕府に献上した地図（一七〇〇）に「わしべつ」の地名がみえ、宝暦年間（一七五〇）の蝦夷地の村名に「わしへつ・ほろへる・のほるへつ」天明元年（一七八一）の「松前志」



たが、和人が和語とアイヌ語を交えて「ワシヘツ」と唱え「カバチリは鷺」、「ベツは川」で「鷺川」と書いている。それが後の開拓使発行の「北海道志」に「鷺別村は鷺別川の東にあり、海に面してカハリベツとよび鷺の意味である」になり、昭和十三年発行「駅名の起源」では「アイヌ語カバチリベツ、鷺のいる川」本当らしく書いている。異なった説には、アイヌ語の立場から、上原熊次郎の「蝦夷語地名解」に「ワシベツはハシベツなり、此の川尻へ流木の寄る故地名にする」と言い永田方正の「北海道蝦夷語地名解」は「わしべつはハシユベツ・柴川」と訳している。いずれにせよ「谷地に生育する低い木、灌木の群生する川、小さな雑木の柴の川」などの意味である。

「ワシベツ・ホロベツ・ノブルベツ」などと「わしべつ」の地名も次第に明からになってくる。次に「わしべつ」は此のように江戸時代からの地名であるが、語原はどうであろうか。

漢字「鷺別」からの印象は「鷺・川」で、むかし鷺別岳の山奥に入らなくても、羽根を開くと二羽余もある「おおわし」が数多く棲息していたし、古い文献にも鳥の「わし」を意味したものがあつた。江戸末期の「蝦夷地名解」にアイヌ語で昔「カハチリベツ」と言

つたが、和人が和語とアイヌ語を交えて「ワシヘツ」と唱え「カバチリは鷺」、「ベツは川」で「鷺川」と書いている。それが後の開拓使発行の「北海道志」に「鷺別村は鷺別川の東にあり、海に面してカハリベツとよび鷺の意味である」になり、昭和十三年発行「駅名の起源」では「アイヌ語カバチリベツ、鷺のいる川」本当らしく書いている。異なった説には、アイヌ語の立場から、上原熊次郎の「蝦夷語地名解」に「ワシベツはハシベツなり、此の川尻へ流木の寄る故地名にする」と言い永田方正の「北海道蝦夷語地名解」は「わしべつはハシユベツ・柴川」と訳している。いずれにせよ「谷地に生育する低い木、灌木の群生する川、小さな雑木の柴の川」などの意味である。

鷺別地区

レクリエーションダンスサークル 会員募集

鷺別公民館で活動しているレクリエーションダンスサークルは、会員を募集します。

▽募集人員 午前の部 午前十時から正午まで：二十名、午後の部 午後一時から午後三時まで：二十名

▽会費 三か月で千円（月四回程度活動）

▽申し込み方法 往復はがきに住所・氏名・電話番号・午前か午後の部の別を明記のこと

▽申し込み・問い合わせ 〒099登別市鷺別町三三三四 鷺別公民館内「レクダンスサークル」

（☎8823）へ三月十八日までに申し込んでください（当日消印有効）

※募集人員を超えた場合は、抽選を行います。詳しい内容は、後日、はがきでお知らせします。

おふくろの味を食卓に

食文化サークル「かまど」は、一般の方を交えて魚・肉・野菜を使つての調理実習を行います。

▽日時 三月十八日（水）午前十時から正午まで

▽場所 市民会館

▽受講料 五百円（材料代を含む）
▽定員 三十名（先着順）
▽用意するもの エプロン、筆記

用具、三角布
▽料理 ほっけ又はサバとごぼうの煮物、豚肉とニラのからし和え

▽講師 佐藤和子さん

▽申し込み 三月六日から社会教育課（☎1100）で受け付けます

ケーキ作りサークル(市民会館) 会員募集

シユークリームサークル（お菓子づくり）は会員を募集します。

▽活動日 毎月一回第一金曜日 午前九時から正午まで

▽会費 入会金：六百円、月会費：六百円

▽募集人員 十五名（先着順）

▽申し込み 三月六日から社会教育課（☎1100）で受け付け開始

日用品バザーを開きます

登別市婦人団体連絡協議会は、日用品バザーを行います。

多数のお越しをお待ちしています。

▽日時 三月十八日（水）午後一時

▽場所 市民会館

▽バザーの品物 日用品や手づくり作品（小物入れなど）を格安で販売します

▽問い合わせ 教育委員会社会教育課（☎1100）